

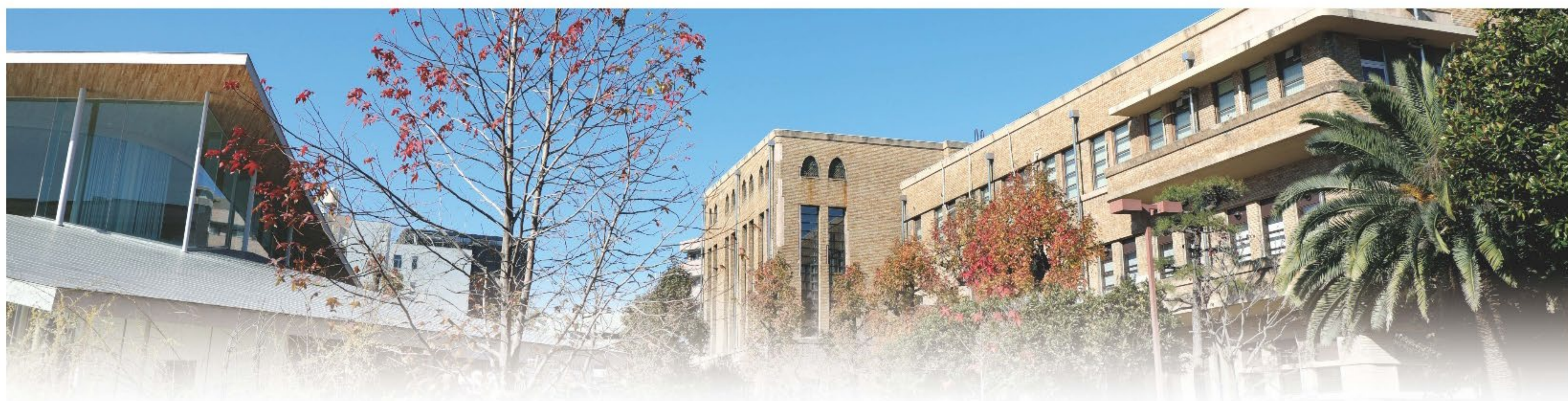
革新的な医療のイノベーションを！

～BIZENプログラムで人材と事業の育成をしてみませんか？～

岡山大学病院 新医療研究開発センター 次世代医療機器開発部

仙石 喜也 川崎 修治 流郷 俊恵

医療系オープンイノベーション・プログラム“BIZEN”



医療現場とつながりたい企業・研究者のみなさまへ BIZENプログラムで提供できること

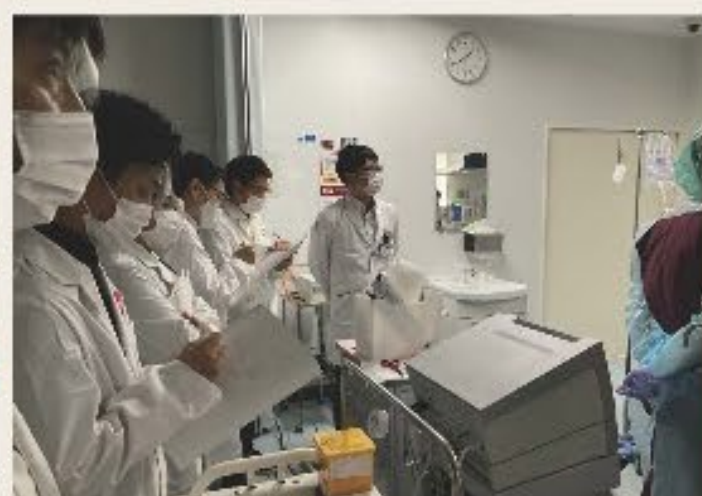


病院でものづくり

医療現場に立ち入り、現場の観察ができます



IVRセンター



内視鏡室



超音波センター

医療機器の開発改良について、医療従事者と意見交換ができます



意見交換の様子



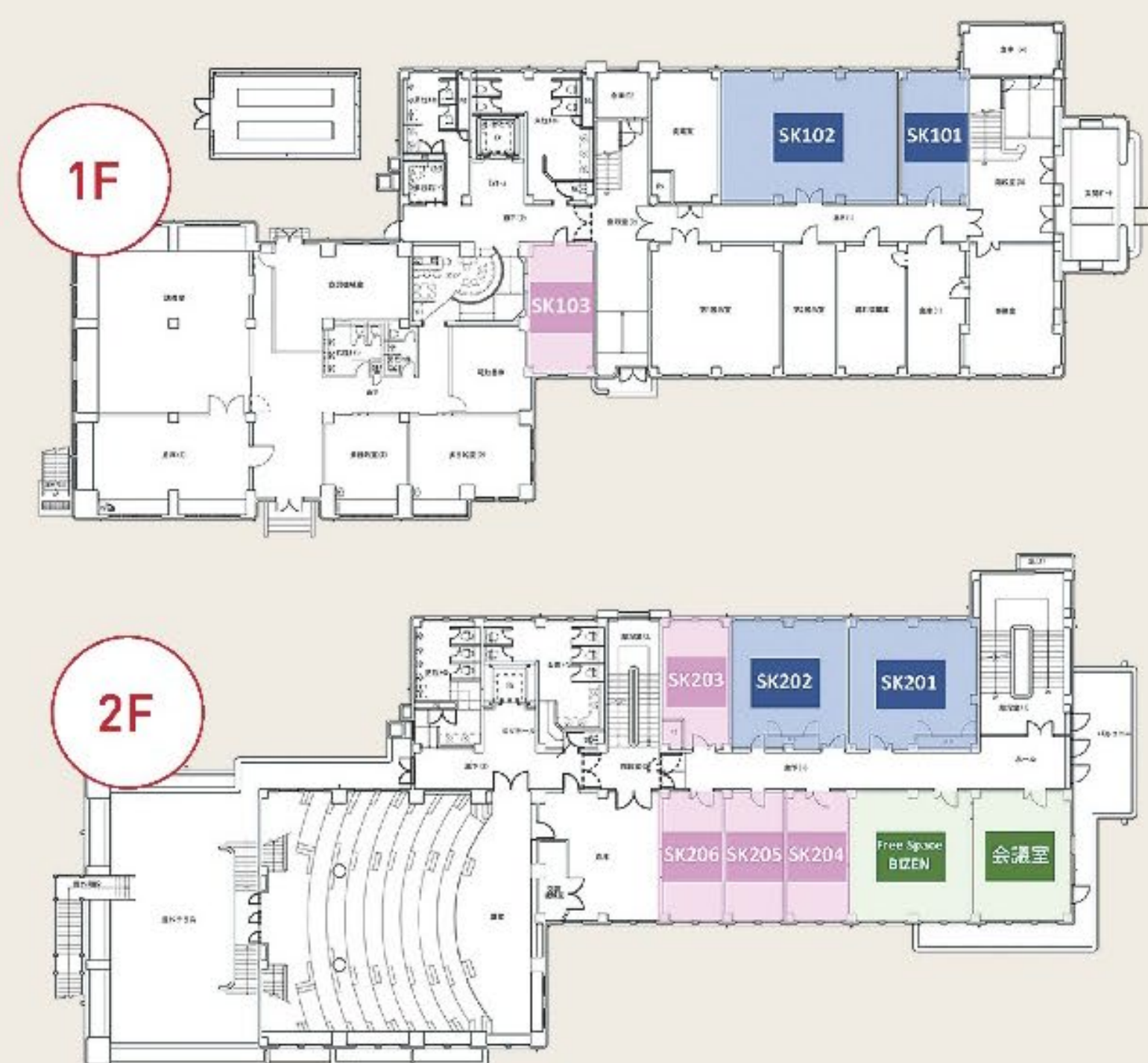
病院を拠点とした開発サイクル



BIZENラボ(鹿田会館)

会員はフリースペース、会議室がご利用いただけます

・面積27.38m²～ 月額45,177円～156,372円(消費税込)



院内インキュベーションラボ (中央診療棟)

会員は院内インキュベーションラボがご利用いただけます

・フリーアドレス制、利用料は包括会員会費に含みます



BIZENラボ フリースペース



インキュベーションラボ



人材育成プログラム

ニーズ探索から事業化まで必要な知識を学べます



デザイン手法講義



コンセプト生成



プロトタイピング



活動発信会・相談会・マッチング・起業支援

研究者や参加企業との交流や専門家の支援を受けることができます

・BIZENプログラム会員について 包括会員年会費:132万円(消費税込)
人材育成や事業化など目標達成を前提とする包括的な支援を受けることができます
医療現場ニーズ探索、研究者・専門家・関係企業とのマッチングなど



OKAYAMA UNIVERSITY

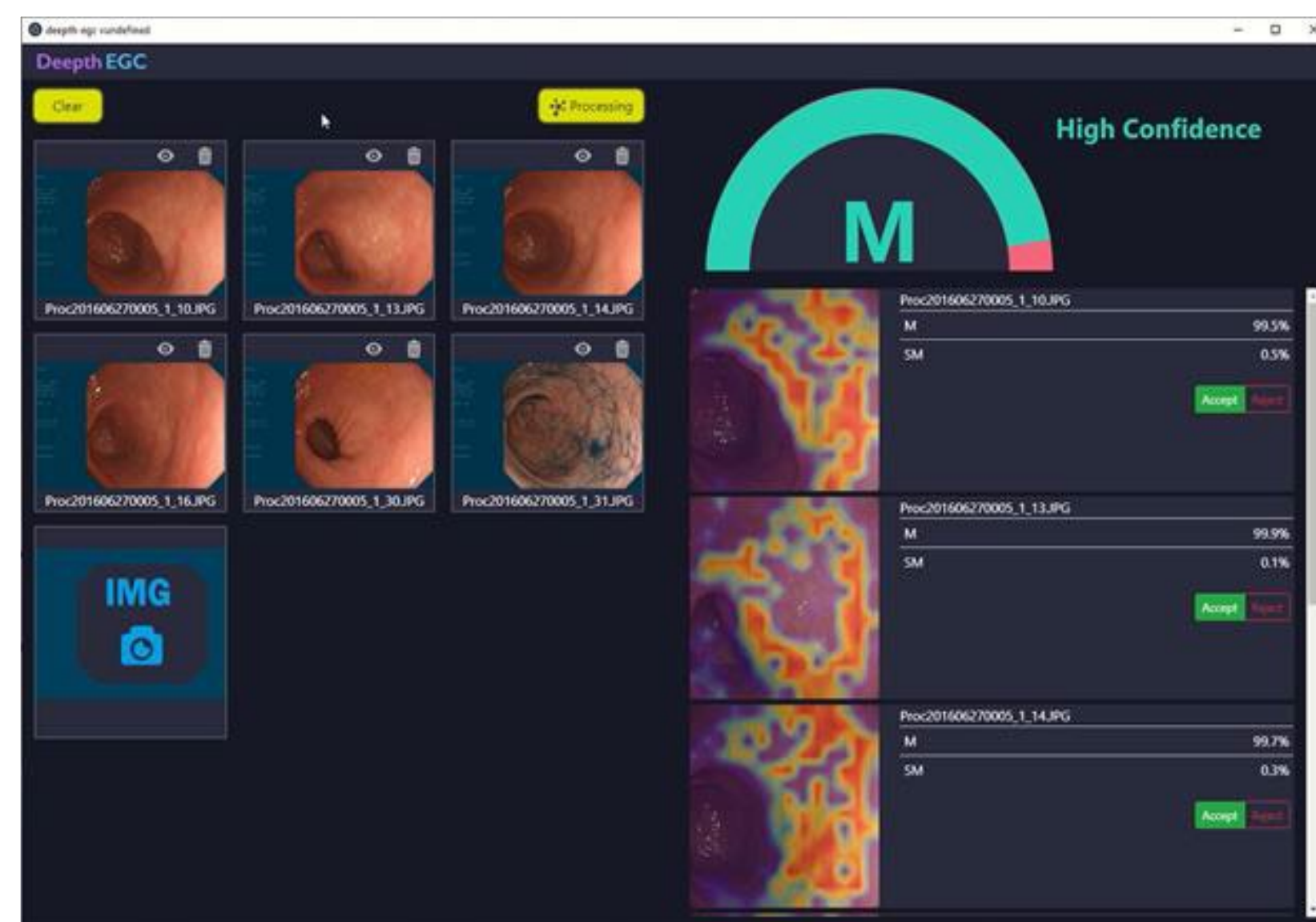
企業との共同研究による実用化事例

Product showcase 1

AIが胃がんの診断を支援する 早期胃がん深達度診断プログラム

早期胃癌の治療法の選択には、病変の正確な深達度診断が必要ですが、その診断は医師の経験に基づいて行われています。

岡山大学と株式会社両備システムズの研究グループは人工知能（AI）を用いた早期胃癌の内視鏡診断システムを開発しました。このシステムを用いることで、確実な治療法の選択が期待されます。



商品名：ソフトプロテクターCPC
(承認/認証番号：30500BZX00107000)



光重合型硬化機構を採用

Product showcase 2

がん治療時の口（くち）の痛みを和らげたい 新規口腔粘膜保護材

口腔粘膜炎はがん化学療法中に口唇や舌に発症して、激しい痛みで食事や会話、歯磨きが困難となるなど、QOLを著しく低下させます。

岡山大学とサンメディカル株式会社、株式会社モリタの研究グループは、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の橋渡し研究戦略的推進プログラム（シーズB）の支援を受け、新規口腔粘膜保護材を開発し、2023年5月23日に医療機器（クラスⅡ）の承認を取得しました。

Product showcase 3

点滴ラインなどの絡まりを防止する チューブセパレーター

集中治療室や救命救急センターでは、重症患者さんの管理のため多くの点滴チューブなどが使用されていますが、チューブが絡まることで正確に薬剤を投薬できないことや、チューブ交換や患者さん移動時に時間がかかることなどの問題がありました。

岡山大学とタキゲン製造株式会社は、点滴チューブの絡まりや落下を防止する、絡み防止具「チューブセパレーター」を共同開発しました。



参加企業募集

お問い合わせ

岡山大学病院 新医療研究開発センター 次世代医療機器開発部
岡山大学 研究・イノベーション共創機構 医療系本部

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

☎ 086-235-6979, 7697

✉ med-office@okayama-u.ac.jp



OKAYAMA UNIVERSITY